

# スポーツ in TOYAMA なかま

第383号  
2021年4月1日  
発行者 新日本スポーツ連盟  
富山県連盟  
発行責任者 荒井英治  
〒930-0884  
富山市五福末広町 834-12  
山商ハイツ28 202号室

## 早春に たてもん、米騒動の舞台 しんきろうロードを歩いた

記 富山ウォーキングクラブ T.H

初詣ウオークの計画が、豪雪のため延期し3月12日（金）になった。前日は晴れで蟹気楼に期待して出発。参加5名。

コースは 9:40 新魚津→10:45 魚津漁港 →11:42 諏訪神社→11:58 米騒動記念碑 →12:31 「新宿」の交差点→13:05 魚津駅前「海風亭」着 歩数 13,200 歩



天候はまずまずで、暖くなれば蟹気楼出現も期待できそうだ。

“ありそドーム”の前を通り海に出る。波は静かで新湊大橋から能登半島が遠くに見え、白い波を立て漁船が通る。

波打ち際にはオシドリのような鳥が小川の河口に群がっている。ミラージュランドが近く見える。

海岸線を南下し、“海の駅蟹気楼”をとおり展望台付近で、待機中のカメラマン曰く「今日は八尾方面にモヤがあり出現しないだろう」と。漁港と三角屋根とドームの魚津埋没林博物館を廻り、ユネスコの無形文化財に登録されている“たてもん祭り”の諏訪神社に参り、コロナ退散と

1年の安全を祈念した。

そこから500m、大町海岸に臨む場所に「米騒動発祥の地」（諸説あり）の石柱が建っています。

1918年（大正7年）7月 米価高騰に苦しむ漁師のおかみさんたちが沖合の船への米俵を積み込む作業の中止を要求し中止させた「米騒動」である。



大正デモクラシーのきっかけとなったところで、米騒動の舞台となった旧北陸街道に面した旧十二銀行（北陸銀行の前身）の倉庫がほぼ当時のままに残っており大町公園には米俵のモニュメントがあった。（映画「大コメ騒動」の舞台）

そこから、上杉家の悲劇と言われた魚津城跡で“謙信手植松・常盤の松”のある市街地の中心部の旧大町小学校跡を巡り、“あいの風鉄”道魚津駅前へ戻った。

駅前でグルメ漫画「美味しんぼ」でも紹介された100年前創業の老舗で海鮮丼（1,100円）を食した。早春の海と海のミステリアスを感じ、歴史に想いを馳せ、海の恵みを味わえたウォーキングでした。

## 救急救命講習会に参加を！

5月23日（日）午後2時から富山市婦中ふれあい館で救急救命講習会を開きます。内容はAED（自動体外式除細動器）の使用法、三角巾の使い方、熱中症対策についての講義と実技指導です。

学校や公民館などの公共施設では今やAEDはどこにでも設置されており、心臓細動が起きている人にAEDを使って適切な処置を施せば命を救うことができます。

使い方は音声で指示が出ますので冷静に落ち着いてやれば良いのですが、突然の出来事に気持ちが悪転していて上手く対応できるか不安があります。そんな時のために使い方の講習を受けておけば、いざという時に適切に対応できます。

また、三角巾は登山などのアウトドアスポーツで怪我をした時によく使う、応用範囲の広い救急用具ですので、三角巾の使い方をマスターしておくことはとても大切なことです。熱中症については、夏季の暑い時間帯では、登山にかぎらず、農作業など野外活動中の事故が身近なところでしばしば起きています。そんな時に適切な対応がなされないと命にかかわる重大事故なることもあります。熱中症対策についての知識を身につけておくことは、自分のためでもあり、家族や仲間のためでもあります。ぜひ、この講習会に参加されるようお知らせします。連盟員でなくても参加できますので、家族の方や友人も誘って参加ください。

### 救急救命講習会実施要項

日時：5月23日（日）午後2時～4時

場所：富山市婦中町砂子田1-1

婦中ふれあい館 2F小研修室2

内容：AEDの使い方、三角巾を使った応急処置、熱中症対応（予防と応急処置）

参加費：無料

申込み方法：所属クラブの連盟理事に申し込むか、氏名・住所・電話番号を書いてハガキ下記まで申し込むか、電話で申し込みください。

〒939-0322 射水市上野465 荒井英治 Tel080-8695-6639

申込み締切り：5月14日（金）



## スポーツ連盟とやまの行事予定

5月23日(日)	救急救命講習会
6月中旬	反核平和マラソン
11月21日(日)	交流ウォーキング
12月5日(日)午後2時から	第41期定期総会

## 各クラブの予定

### 富山ハイキングクラブ

4月3日(土)	千石城山
4月11日(日)	三条山と舟戸公園の花見
4月18日(日)	一乗城山(自主企画)
4月25日(日)	赤祖父山
5月2日(日)	小佐波御前山(芦生コース)
5月9日(日)	三千坊山(ツツジをめでの)
5月15日(土)	総会
5月16日(日)	大鷲山

### 三島野スポーツクラブ

4月10日(土)	オンソリ山
4月25日(日)	遠見尾根
5月9日(日)	宝達山
5月22日(土)	天蓋山

### 富山ウォーキングクラブ

4月8日(木)	あさひ舟川・春の四重奏
4月25日(日)	俱利伽羅ウォーク&総会

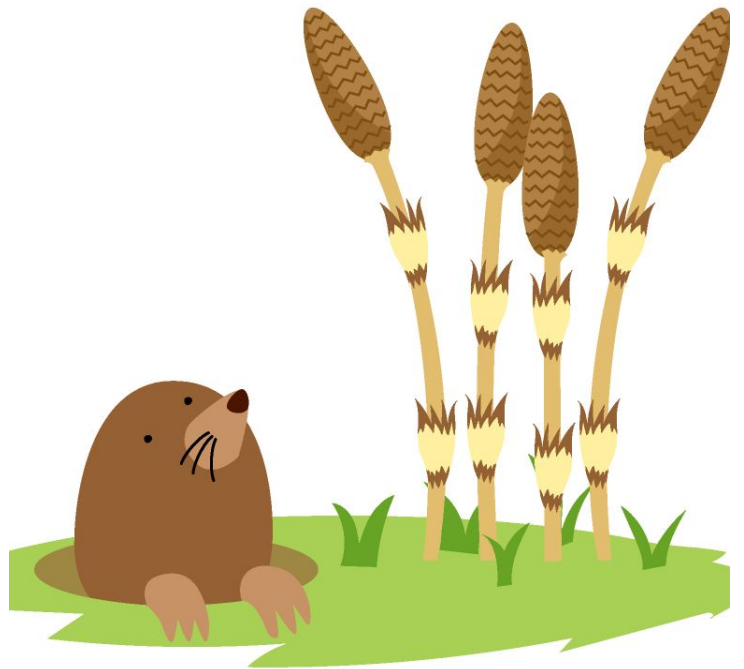
編集雑記：『継続は力なり』。この言葉、よく聞かされてきた言葉です。何をやって続かない。

三日坊主で終わってしまう。そんな嘆きをよく耳にします。でも、そんな人に言いたいのは、続かなくて当たり前。「次々と色んな事を試してみれば」と。三日坊主を延々と繰り返すこと、それ自体が立派な三日坊主の継続だと開き直って、色々なことに挑戦し続けて行けばきっと何かに出会うのでは。

不思議なもので、何時か自分にとって生涯の友と言えるような趣味というか、支えとなるような習慣が出来上がってくるものです。私事ですが、私の朝は散歩からスタートです。私の生まれ育った所は田舎で、射水丘陵の北端の里山里村地域。段々畑ならぬ段々田圃が狭い谷筋に広がっています。そこを夜明け前から起きだして田圃の畦や農道を2時間ばかり目的もなく歩き廻るのです。それのどこが楽しいのかと言われれば、「すべてが面白い」と答えるしかない程ハマってしまっています。そこでは様々な植物や、野生動物たちが生き生きと日々の命を繋いでいる有様や痕跡があって、興味が尽きません。

早春のこの時期の見ものは、モグラの土饅頭。畦道のあちこちに彫り上げた土が一重の鏡餅のようにこんもりと盛り上げられていて、姿は見えないけれど、自然とあの愛らしいモグラ君の様子が浮かんで嬉しくなります。それにしても、こんなに沢山の土饅頭は何匹のモグラ君たちの頑張りの成果なのだろう。

自分が子供だった頃(いまから数十年前)、百姓農家にとってはモグラは害獣の最たるもので、『猫要らず』という毒薬入りの疑似餌を畦に出来た穴に蒔いて駆除していました。水田に溜めた水がモグラの穴から漏れて水田が一晩のうちに干上がって、米の収量に影響したからです。そんなわけで昔はあちこちに疑似餌に騙されたモグラの死骸があちこちに散らばっていたものです。今はモグラの死骸を見ることは全くありません。大型の畦塗機と大馬力のトラクターのお陰で穴は分厚く塗られ固められて漏水はほとんどなくなりました。モグラにとっても、農業の近代化・機械化は大変なご利益だったこととなります。



他に、早朝散歩の面白さを一つ挙げるとすれば水的作用、水の驚異的な力です。これを話すと長くなるので、別の機会にします。とにかく何事においても諦めないことが大事だと、この年齢になって実感します。